

CASBEE京都-新築(2011年版)
(仮称)京都市西京区桂御所町計画

■使用評価マニュアルCASBEE京都-新築(2011年)
 ■評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目		評価点	重み係数				評価点	重み係数				
Q 建築物の環境品質											3.4	
Q1 室内環境												3.5
1 音環境							3.0	0.15	3.2	1.00		3.2
1.1 騒音							3.0	0.50	3.0	0.50		
1 室内騒音レベル							3.0	1.00	3.0	0.50		
2 設備騒音対策							-	-	3.0	0.50		
1.2 遮音							3.0	0.50	3.5	0.50		
1 開口部遮音性能							3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能							-	-	4.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-	-	4.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音							-	-	-	-		
2 温熱環境							2.5	0.35	3.5	1.00		3.4
2.1 室温制御							2.2	0.63	3.7	0.71		
1 室温							3.0	0.63	3.0	0.63		
2 負荷変動・追従制御性							-	-	-	-		
3 外皮性能							1.0	0.38	5.0	0.38		
4 ゾーン別制御性							-	-	-	-		
5 温度・湿度制御							-	-	-	-		
6 個別制御							-	-	-	-		
7 時間外空調に対する配慮							-	-	-	-		
8 監視システム							-	-	-	-		
2.2 湿度制御							-	-	3.0	0.29		
2.3 空調方式							3.0	0.38	-	-		
3 光・視環境							3.5	0.25	3.3	1.00		3.3
3.1 昼光利用							4.2	0.30	4.0	0.30		
1 昼光率							5.0	0.60	5.0	0.50		
2 方位別開口							-	-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備							3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策							3.0	0.30	3.0	0.30		
1 照明器具のグレア							-	-	-	-		
2 昼光制御							3.0	1.00	3.0	1.00		
3 映り込み対策							-	-	-	-		
3.3 照度							4.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御							3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気環境							4.2	0.25	4.2	1.00		4.2
4.1 発生源対策							5.0	0.60	5.0	0.63		
1 化学汚染物質							5.0	1.00	5.0	1.00		
2 アスベスト対策							-	-	-	-		
3 ダニ・カビ等							-	-	-	-		
4 レジオネラ対策							-	-	-	-		
4.2 換気							3.0	0.40	3.0	0.38		
1 換気量							3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能							-	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮							3.0	0.50	3.0	0.33		
4 給気計画							-	-	-	-		
4.3 運用管理							-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視							-	-	-	-		
2 喫煙の制御							-	-	-	-		
Q2 サービス性能							-	0.30	-	-		3.2
1 機能性							3.1	0.40	3.6	1.00		3.5
1.1 機能性・使いやすさ							3.0	0.40	4.0	0.60		
1 広さ・収納性							-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応							-	-	4.0	1.00		
3 バリアフリー計画							3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性							3.0	0.30	3.0	0.40		
1 広さ感・景観							-	-	5.0	0.50		
2 リフレッシュスペース							-	-	-	-		
3 内装計画							3.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理							3.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計							3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保							4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性							3.1	0.31	-	-		3.1
2.1 耐震・免震							3.0	0.48	-	-		
1 耐震性							3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能							3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数							3.3	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数							3.0	0.29	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔							-	-	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔							3.0	0.12	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔							3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔							5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔							3.0	0.29	-	-		

2.4 信頼性					3.2	0.19	-	-	
1	空調・換気設備				1.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備			節水型器具を使用	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備				3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法			耐震クラスA以上を確保	4.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備			通信設備の多様化	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性					3.1	0.29	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり					-	-	3.0	0.50	
1	階高のゆとり				-	-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)		-	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					3.1	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)	PS、点検口、配管ピットの確保	4.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース				3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出		●とも	A'(全国版準用)		3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		○	C(独自加算) D(独自基準)	景観地区における認定、許可を得ている	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		●とも、 自然	A'(全国版準用)	集会室・コミュニティルームを設ける	4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		●とも	A(全国版準用)		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	4.6
1 建物の熱負荷抑制				住宅性能表示の省エネルギー対策等級4	5.0	0.40	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用					3.5	0.20	-	-	3.5
2.1 自然エネルギーの直接利用		●自然	A(全国版準用)		3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用		●自然	A(全国版準用)	太陽光パネル設置	4.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化					4.9	0.40	-	-	4.9
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)				#VALUE!	5.0		-	-	
集合住宅の評価					4.9		-	-	
4 効率的運用					-	-	-	-	-
4.1 モニタリング					-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制					-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護					3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水				省水型の器具を使用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		●自然	A(全国版準用)		3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					2.9	0.63	-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減		●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)		3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		●自然	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		●大切	A(全国版準用)		3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.3	0.22	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				有害物質を含まない材料を使用	4.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.68	-	-	
1 消火剤					-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)					3.0	0.50	-	-	
3 冷媒					3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮					3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮					2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		●とも	A(全国版準用)		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減					3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				車寄を設ける	3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制					3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮					3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	
1 騒音				発生する機器を使用しない	3.0	1.00	-	-	
2 振動				発生する機器を使用しない	-	-	-	-	
3 悪臭					-	-	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制					3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制					-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制					3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制					4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				ガイドラインの過半を満たしている	5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		●大切	B(推奨内容)		3.0	0.30	-	-	

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素景観創出に係る項目

重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う 「とも」:ともに使う 「自然」:自然からつくる